

園長日記 第24回 1学期を終えて

1学期が終わりました。例年ですと、ホールに集まって終業式を行います。コロナ感染防止のために園長が、3歳以上児の各保育室を回って終業式を行いました。特に、3歳の子ども達は、1学期終了の節目をちょっと不思議そうに迎えていました。夏休みに入るお友達とこれまで通り登園するお友達がいますが、次にみんなが揃うのは9月です。体調をこわさない、事故にあわないようにと子どもたちに話しました。

さて、1学期は、コロナ禍のために、心配の絶えない毎日でしたが、子どもたちは、五感を使った遊びをいっぱい体験し、豊かな姿を見せてくれました。遊びに没頭する姿、お友達と喧嘩しながらも頑張って折り合いをつけていく姿、給食を黙食で食べる姿、一生懸命にお着替えをする姿、担任に甘える姿等々、素敵な育ちだなと思う数々の姿がありました。活動では、花つみ、色水、砂遊び、水遊び、虫取り、製作、ヨーロッパの玩具遊び、園外保育（フローランテ宮崎、科学技術館、大淀川学習館、中央公園、短大、安井息軒記念館）、ボールで遊ぼう、英語で遊ぼう、音で遊ぼう、絵本等々、発見の連続でした。子どもたちの日常は、輝く毎日だったように思います。また、水道管故障のために、急遽お願いしたお弁当の日では、見た事のないほどの嬉しい笑顔を見せてくれました。保護者の皆さまの愛情が伝わってきました。

乳幼児期の様々な体験は、子どもたちの記憶に深く残ると言われています。園での体験にプラスして、ご家族の皆さまと一緒に「わくわく・ドキドキ」する体験がいっぱいできることを願っています。

